

Ⅲ 教育の情報化

1 事業目的

教育の情報化（「情報教育（情報活用能力育成）」…**A** 「教科指導におけるICT活用」…**B** 「校務の情報化」…**C**）を推進し、教育の質の向上を図る。

2 実施方針

- (1) 学習意欲を高めるわかる授業づくりにむけて、教科指導におけるICT活用を推進し、授業力向上を目指す。（関連 **A** **B**）
- (2) 発達の段階に応じた体系的な情報モラル教育を推進する。（関連 **A** **C**）
- (3) ICT活用環境の充実に向け、学校（園）の情報システムの購入、設計及び推進の充実を図る。

3 実施内容

- (1) 教科指導におけるICT活用の推進
 - ・ 全小中学校に各40台導入のタブレット端末を使用した教科指導におけるICT活用法について、ICTマイスター教員を任命し、センター指導主事とともにアウトリーチ型研修を全校1回実施する。
 - ・ タブレット導入に伴いヘルプデスクを設置することを学校に周知を図るとともに、学校への支援体制を整える。
 - ・ 各普通教室に整備された大型ディスプレイ等および実物投影機の使い方について調査し、各学校の活用を推進する。
- (2) プログラミング教育研修の全小学校での実施
 - ・ 新学習指導要領により、令和2年度から小学校で必修化されるプログラミング教育の導入に向け、ICTマイスター教員を任命し、センター指導主事とともにアウトリーチ型プログラミング教育研修を実施し、全小学校におけるプログラミング教育の円滑な導入を図る。
 - ・ 先進校への視察及び、大学の教授によるプログラミング教育についての研修を行うことで、プログラミング教育に対する研究を進める。
- (3) 情報モラル・情報セキュリティ研修の推進
 - ・ インターネットの利用や携帯電話・スマートフォンの取り扱い等に関する現状や最新の情報技術・情報セキュリティ等について、教職員対象の研修を実施し、急速な教育の情報の推進へ対応できるよう、研修の機会を設ける。
 - ・ 児童生徒が自身で判断して行動できる力を身につけるために、各教科や道徳等での情報モラル教育の実践例を研究・提供する。
- (4) 学校園版情報セキュリティポリシーに基づく情報セキュリティの向上
 - ・ 全教職員を対象に実施するeラーニングの内容を精査し、情報モラルおよび情報セキュリティについて最新の情報を提供し、セキュリティ意識の向上を図る。
 - ・ 学校園版情報セキュリティポリシーに基づき、資産管理システム等を運用し、対象となるICT機器のシステム面でのセキュリティ対策を引き続き実施する。

4 実施状況

(1) 研修

- ① プログラミング教育研修会 1回
7月31日（水）84人
講話及び演習：「プログラミング教育をどうするか」
講師：関西大学 総合情報学部 教授 黒上 晴夫 氏
- ② 平成31年度（2019年度）タブレット導入に係る校長等研修会
1月21日（火）25人
研修：「タブレット端末活用研修」
講師：株式会社 大塚商会 中川 和信 氏

- ③ ICT活用研修会 1回 32人
 2月7日(金)
 公開授業・事後研究会
 公開授業：伊丹市立西中学校 理科「動物の体のつくりと働き」
 授業マイスター教員(中学校理科) 神谷 光一 教諭
 講話及び演習：「児童生徒PC1人1台時代の授業の在り方」
 講師：園田女子学園大学 人間健康学部 教授 堀田 博史 氏
- ④ 学校園別コンピュータ研修会 3校 91人
 7月29日(月) 23人 荒牧中学校 教科指導におけるICT活用
 8月22日(木) 34人 松崎中学校 情報モラル・セキュリティ、校務の情報化、
 教科指導におけるICT活用
 8月26日(月) 34人 南中学校 学習クラブ使用、教科指導におけるICT活用
- ④ アウトリーチ型研修
 7月22日(月)～8月30日(金) 全小学校 「学校別コンピュータ研修」実施
 1月27日(月)～3月12日(木) 全小・中学校 「タブレット端末および授業支援
 ソフト導入に伴う研修」実施
- ⑤ ICT活用推進担当者会の開催 4回
 5月23日(木) 31人
 12月12日(木) 31人
 1月31日(金) [小] 11人
 2月7日(金) [中・特・高] 15人
 3月6日(金) 31人

(2) 学校園の情報化支援

- ① 教育情報化グループの体制及び学校支援
 指導主事2人、事務職員2人、情報化推進員(嘱託職員)にて、電話問い合わせやリモート
 対応等のヘルプデスク機能を充実する。
- ② 校務支援システム運用支援
 電子化された通知表および指導要録の運用における支援
- ③ 学校園ホームページ更新(情報発信)支援
 月4回以上の更新を行うことができるよう、訪問およびリモート対応により、学校園を支援
 した。

(3) 機器運用・整備

- ① 学校園設置機器の概要(R2.3月末)
- ア 校務用PC(事務用) 1,208台
- ・常勤教員1人1台
 - ・各校共用3台
 - ・セキュリティ機能付きUSBメモリ
 - ・プリンタ、スキャナ等周辺機器
- イ 教育用PC(コンピュータ室) 1,209台
- ・小学校 児童用43台、教師用1台
 - ・中学校 生徒用41台(ノートPC31台、スレート型PC10台)、教師用1台
- ウ ICT機器
- ・大型ディスプレイ等+電子黒板
 ※電子黒板は各小・中学校6台 特別支援学校1台
 - ・実物投影機
- エ 各種システム
- ・インターネット・イントラネットの提供
 - ・セキュリティ対策(ウィルス対策・フィルタリング・資産管理システム)
 - ・校務支援システム
 - ・センターサーバ(校務用データの保存)

オ 全小・中学校にタブレット端末（各40台）及び無線LANアクセスポイント（各5台）

② 平成31年度更新

ア 学校園における情報教育環境の整備

- ・校務用端末の更新（小学校）
- ・大型ディスプレイ等及び実物投影機の更新（小・中学校）
- ・児童生徒用端末の更新（小・特別支援学校）

(4) 家庭学習の充実を図る支援

- ・家庭学習プリント配信システム「みんなの学習クラブRタブレット版」の運用
- ・小・中教員、PTAを対象とした活用法の啓発（学校園別PC研修、出前講座）

5 成果と課題・改善策

(1) 成果

- ① プログラミング教育研修会、学校園別コンピュータ研修会、アウトリーチ型研修を通して、ICTの活用方法や事例の紹介ができた。（ICTを活用した授業時間数の目標値：1クラスあたり1月平均38.0時間 令和2年3月末時点 38.3時間）
（関連 [B](#)）
- ② 情報モラル・情報セキュリティの資質を高めるため、全教職員対象のeラーニングを実施した。（令和元年6月20日～7月19日 実施人数1,104人）（関連 [A](#)）
- ② 新型コロナウイルスによる臨時休校にあたり、家庭学習プリント配信システム「みんなの学習クラブ」の活用推進や文部科学省、兵庫県教育委員会などの無料で学習できるWebページへのリンク集を開設して、各学校に電子メールや通知をしたことで、「みんなの学習クラブ」の活用率が上がり、家庭学習を推進することができた。

(2) 課題と改善策

- ① ICTを活用した授業時間数については学校間に格差があるため、ICT機器に苦手意識を持つ教員へ基本的な使い方を研修し、活用への意識を高める必要がある。（関連 [A](#) [B](#)）
- ③ 今年度、国が示した「GIGAスクール構想」実現に向けて、児童生徒1人1台に向けた学習者用端末の整備や校内通信ネットワークの整備を計画的に実施していく。（関連 [A](#) [B](#)）
- ③ 今後、児童生徒1人1台の学習者用端末整備に向けて、ICTを活用した授業研究及び事後研究を実施し、活用の場面・方法等について研修する機会を設ける必要がある。（関連 [B](#) [C](#)）
- ③ 情報化社会が急速に進行していく中で、児童生徒が正しく情報を取捨選択し、活用できる力を身につけさせるため、各教科や道徳等で情報モラル・情報セキュリティに係る授業等を推進していく必要がある。（関連 [A](#)）
- ④ 「家庭学習のへや」の活用を推進するとともに、学校間の活用に格差があるため、各小・中学校教員、PTAを対象とした活用法の啓発を行う必要がある。（関連 [B](#)）